

金倉圓照 きくら げんしょう インド哲學者、文學博士。明治二十九年十一月十一日鹿兒島縣生れ、昭和六十八(一九四三)年一月二十四日歿(一九六一—一九七七)。大正九年東京帝國大學文學部印度哲學科卒。歐洲、インド哲學後、昭和四年東北帝大教授。二十八年日本學士院賞受賞、四十一年宮城教育大學學長、六十年文化功勞者。

著書、『吠檀多哲學の研究』(昭和七年十月十五日岩波書店)、『印度古代精神史』(昭和十四年一月、二十六日岩波書店)、『釋迦』(昭和二十一年十月、二十日生活社「日本叢書」)、『印度中世精神史』(上・昭和二十四年九月、二十日、中・三十七年七月、二十日岩波書店)、『印度哲學史』(昭和二十七年十月十五日昭和書房)等。譯書、『喜如祥大ナーラーヤーチ著』(トローパデーシヤー丸世の教文) (北川秀則共訳、昭和二十二年十一月二十日岩波書店「岩波文庫」)等。

